

ベルマーク新聞 5月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

説明会2019、各地で開幕

全国95会場で6月下旬まで実施



④新宿会場では協賛会社6社がブースを並べ、開会前に試供品などをもらう参加者の列が続いた
⑤福岡会場では糸島市立前原小学校の金ヶ江司PTA会長らが体験発表を行った

これからの地域の方、
間もなく
うかがいます！



配布された資料やスライド映像を参考に、真剣な眼差しで説明を聞く東京・新宿会場の参加者たち＝NSビル30階スカイカンファレンスホール

年号が令和に改まり、大型連休が明け、ベルマーク運動説明会の季節となりました。2019年度は5月7日の福岡と広島を皮切りに、8日には東京・新宿などでも開催されました。この後は毎週平日、全国3～4カ所で同時に開催していきます。6月21日の宮崎・延岡でラストを迎えます。
5月7日の福岡会場には約100人の

参加者が訪れました。協賛会社5社がブースを並べた中には、昨秋にベルマーク大使になったラッキーベル（ベルマーク番号03）の脇川雅之さんの姿もありました。PTAの体験発表は糸島市立前原（まえばる）小学校。ボランティアサークル「ベルマークの会」が活動を担ってきましたが、PTA委員を支援メンバーとして配置するなど強化した結果、集

票点数が上がり、累計100万点を突破しました。さらに、ボランティア精神育成のため、子どもたちの参加を促すのが目標です。
窓から富士山を望む新宿会場には8日、260人超が来場しました。昨年度の集票点数が東京都で10位、女子聖学院中学校高等学校PTAの方々が発表に立ち、「子どもたちの笑顔のために」と

数々の取り組みを紹介しました。ベルマーク財団の「教育応援隊」事業にある「絵本を届ける運動」ボランティアもその一つ。同校ベルマーク委員の生徒たちは2015年から参加しています。
説明会での体験発表の内容は、ベルマーク財団のHPに順次アップしていきます。これからの活動の参考になさってください。

震災被災校&世界の子どもたちのために

友愛援助、今年も10事業で募集中

ベルマーク財団は2019年度も10の事業で友愛援助を募集しています。ふだんはお買いものにあてるベルマーク預金を、直接寄付にあてる仕組みです。

- ①東日本大震災援助事業
- ②アフガニスタンの子どもたちへの保健教育活動
- ③ラオスでの学校図書室整備プロジェクト
- ④タイの子どもたちの植林・環境教育支援「子供の森」計画
- ⑤東ティモールの乳幼児の健康を守るための予防接種率向上支援
- ⑥ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じた教育支援事業
- ⑦アフガニスタン寺子屋プロジェクト
- ⑧シエラレオネ共和国における学校給食プログラム
- ⑨ブルキナファソでの「子どもにやさしい学校」モデル事業
- ⑩イラクの子どもたちへの平和・共生教育事業



今年度は以上の10事業で寄付を募集しています。このうち、東日本大震災については、財団が直接援助しています。他は実績のあるNGOなどが実施主体となり、紛争や貧困などのために十分な教育を受けられず苦しんでいるアジア・アフリカの子どもたちを支援していく事業です。
世界の子どもたちのために何か支援できることはない

かというみなさまの声に応え、1998年に友愛援助はスタートしました。寄付の金額は問いません。また、複数の事業へのエントリーも大歓迎です。ふるってご参加ください。
詳細は財団HPの「ダウンロード」→「各種申込書」から、友愛援助事業の項目をご参照ください。